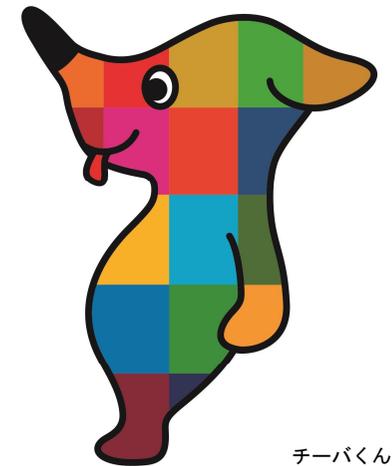


「ちばSDGs推進ネットワーク」を 生かした官民連携による 地方創生の取組み



ちばくん

ちばSDGs

代表地方公共団体：千葉県

代表地域金融機関：千葉銀行（ちばSDGs推進ネットワーク事務局）

千葉県の目指す姿・在りたい姿と地方創生に資する自律的好循環の形成



半島という地理的制約により
人口減少・過疎化の問題にも直面

広範な地域課題に統合的に取り組むSDGsの考え方は、各地域の個性や特性を生かしながら、地方創生の取組を進め、持続可能な県づくりを進めている千葉県及び経済界双方にとって、目指すべき方向性と同じ。



地域金融機関・各経済団体等が結集し、県経済界を挙げて**SDGsの普及啓発を図るとともに、投融資に留まらず、より多くの企業等の連携・協働事例を創出すること等を通して、地方創生に資する自律的好循環の形成を図る。**

「ちばSDGsパートナー登録制度」について

令和3年11月、千葉県

「ちばSDGsパートナー登録制度」を創設



- 企業等の**SDGs推進機運を醸成**し、具体的な取組を後押しする
- SDGsに積極的に取組む企業等の『**見える化**』を図る



令和5年2月16日時点

登録件数は申請受付開始から13か月で **1,647団体**
(令和4年1月～)

『ちばSDGs推進ネットワーク』による働きかけ、申請支援・助言

今後さらにSDGsに自発的に取組む企業等の裾野を拡大

登録の主なメリット

- ◆ SDGsの達成に向けて積極的に取り組む企業・団体等として、千葉県ホームページ等で紹介します。
- ◆ 登録企業等は、チーバくんを活用した千葉県SDGsシンボルマーク（右上イラスト）を名刺や会社案内等に使用することができます。
- ◆ 低利の県制度融資（ちばSDGsパートナー支援資金）による支援を受けることができます。
※ちばSDGsパートナー登録制度に登録されたことをもって融資が確約されるものではなく、金融機関所定の審査を通る必要があります。



ちばSDGs パートナー 募集中。

登録
無料

メリット
多数

電子
申請



ちばSDGs

県では、県内企業等におけるSDGs推進の機運を醸成するとともに、具体的な取組を後押しするため、「ちばSDGsパートナー登録制度」を実施しています。

対象 千葉県内に事務所等を置く企業、団体、教育機関、学校法人、特定非営利活動法人、個人事業主等

要件 (1) 環境・社会・経済の3側面において、具体的な取組を推進すること。
(2) 各取組について、具体的な目標が設定されていること。

「ちばSDGs推進ネットワーク」について

令和4年1月の「ちばSDGsパートナー登録制度」申請受付開始に合わせ、地域金融機関及び各経済団体等と、千葉県の計12企業・団体が、SDGsの普及啓発・SDGsに取り組む企業等への支援を目的に発足。

ちばSDGs推進ネットワーク

地域金融機関

千葉銀行（事務局）
京葉銀行
千葉興業銀行

千葉県信用保証協会

千葉県

特別会員としてネットワークにも参画

経済団体7団体

千葉県商工会議所連合会
千葉県経営者協会
千葉県経済協議会
千葉県経済同友会
千葉県商工会連合会
千葉県中小企業団体中央会
千葉県中小企業家同友会
→延べ加盟社14万先

ちばSDGs推進ネットワーク 発足式

2022.1.7

千葉県
千葉県商工会議所連合会
千葉県経済同友会
千葉県経営者協会
千葉県経済協議会
千葉県商工会連合会
千葉県中小企業団体中央会
千葉県中小企業家同友会
千葉県信用保証協会
千葉銀行
京葉銀行
千葉興業銀行



発足式には各行頭取、各経済団体等の代表、県知事が一同に会し**官民協働**を広く周知

《本ネットワークの実効性》

SDGs及びパートナー登録制度の広報啓発に、金融機関は取引先・経済団体は会員企業等への働きかけを基本とするが、**千葉県経済界を挙げた体制を構築したことで、地域・業種・業態のいずれについても全て網羅** → **SDGsに取り組む県内企業等の裾野を拡大**



ネットワーク会議の開催

- パートナー登録制度の普及のみならず、ネットワークの運営面においても、定期的にネットワーク会議を開催し、SDGs推進のための施策・活動等の意見交換・情報共有を実施



官民協働のスキームを実態面でも担保

開催日程	概要
2022年3月22日	<ul style="list-style-type: none">• 第1回登録企業の状況、登録制度に対する事業者の反応について情報共有。• SDGs関連の保証協会制度資金の利用状況について情報共有• パートナー登録企業の今後の募集計画について意見交換• 登録企業の増加に必要な施策・県内事業者にSDGsの取組みを広めていくための施策・今後のネットワークの活動に関する意見交換
2022年5月10日	<ul style="list-style-type: none">• 第1回登録企業の傾向分析を情報共有• 第2回パートナー登録企業募集について情報共有• SDGs関連の保証協会制度資金の利用状況について情報共有• セミナーの共催実施について説明
2022年10月24日	<ul style="list-style-type: none">• 表彰制度へのエントリーについて意見交換• 今後のネットワーク活動内容・ネットワーク各会員の取組状況について情報共有

「ちばSDGs推進ネットワーク」の活動②

SDGsの普及啓発
～セミナー共催～



- 脱炭素やCO²削減に資する観点からのSDGsの普及についても、ネットワークの網羅性及びSDGsに自発的に取り組むパートナー登録企業の「見える化」を活用し、各種のセミナー等

企業や自治体の脱炭素セミナー 2022 ～脱炭素化を円滑に推進するためのポイント～

SDGsが国連サミットで採択されてから7年が経過しました。日本でもSDGsの特集番組がテレビで組まれるなど、その言葉を耳にしない日はなくなっています。SDGsの17の目標（ゴール）の一つに「気候変動に具体的な対策を」があります。こうしたなかで、岸田内閣が打ち出した「新しい資本主義」の実行計画では、「気候変動問題」を「克服すべき最大の課題」と位置付けました。重点投資の対象の1つであるグリーン・トランスフォーメーション（GX）では、今後10年間に官民協調で150兆円規模の投資を実現することを打ち出しました。

そのように、企業や自治体経営を取り巻く外部環境が脱炭素化に向けて大きく舵を切るなかであって、「実際にどうやって取り組みばいいのか？」と悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、千葉県内で先進的な脱炭素化の取組みを行っている企業や自治体の取組事例を紹介しつつ、取組みのメリットや課題などを共有し、脱炭素化の推進に向けたアドバイスやヒントを提供します。

2022.11.7（月） ■会場定員 30名 ■オンライン定員 200名

13：30～16：00 Zoom Webinarsによる配信（通信費はお客様負担となります）

共催	(株)千葉銀行 (株)ちばぎん総合研究所	千葉県 ちばSDGs推進ネットワーク
後援	(株)武蔵野銀行 (株)横浜銀行	(株)ぶぎん地域経済研究所 (株)浜銀総合研究所

参加無料
要申込

が開催される際には、ネットワークが共催や後援の形で参画。

※今年度共催3件、後援1件

（予定を含む）



企業の脱炭素に向けた取組を推進するセミナーを始め、戦略的・集中的な情報提供・募集を行い、参加者の質・量の両面から大きな成果が出ている。

自律的好循環の形成に向けた金融支援の充実

パートナー登録企業等への金融支援



- 千葉県信用保証協会が令和4年1月よりSDGsに取り組む企業に対し保証料を割り引く制度を開始。
- 千葉県も令和4年4月、パートナーに登録された中小企業者に対し低利の資金メニューを創設した。



保証承諾実績
2,844百万円
(令和4年4~9月)



融資実績
356百万円
(令和4年4~8月)

SDGsに積極的な企業の成長を後押し

ネットワーク地域金融機関による サステナブルファイナンス



- 地域金融機関三行（千葉銀行・京葉銀行・千葉興業銀行）のサステナブルファイナンスによる融資実績を現行の8,654億円から2030年までに3兆2千億円まで引き上げる。

SDGsの取組みを通じた地域における資金の 還流と再投資を生み出していく

ネットワーク地域金融機関による非金融支援での先進事例

地域商社でのブランド創出

- 個人消費者からの資金還流による地域新ブランド創出をサポートする観点から、グループ地域商社がクラウドファンディングを伴走支援。
- 令和4年4月～9月69件、64%が売上目標達成。



中小企業のSDGs取組み支援

- 中小企業の経営課題解決支援策としてSDGsへの取組みを伴走支援。
- 目標設定を議論し、中小企業診断士である行員がサポートし、具体的に設定。パートナー登録と合わせ、健康経営優良法人を取得。省エネ化などを継続支援中。



**非金融支援の先進的事例も
ネットワーク間で情報共有・横展開し
「見える化」されたパートナー企業にも
波及させ、点から面への展開を図る**

フードロス問題に向き合うSDGsマルシェ

- フードロス問題に向き合うSDGsマルシェを令和3年10月から3回開催。
- 今後定期開催し、SDGsの理解促進や地域課題解決・活性化に取り組む。



農業法人デジタル活用

- 地域企業15社と立ち上げた農業法人の自走式機械による水田除草プロジェクトで「先進的デジタル技術活用実証プロジェクト補助金」の助成を受け、デジタル技術活用による地域農業発展の取組みが進展。



千葉県・ネットワーク会員によるSDGsへのコミットメント

「SDGsの推進」を

未来の千葉県を築いていくためには欠かせない、「施策横断的な視点」として位置付け、全庁を挙げて取り組みます。

SDGsは、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものであり、SDGsを推進していくためには、県民の皆さんにSDGsを身近に感じていただき、できることから取り組んでいただくことが重要であると考えています。

また、SDGsの考え方は、県政の様々な分野において、県が目指す方向性と同じであることから、本計画に掲げる政策・施策を着実に推進していくことで、SDGsが目指す社会の実現につなげることができると考えます。



ちばSDGs

【取組例】ちばSDGsパートナー登録制度

県内の企業や団体等による自発的な取組を後押ししていくために創設した制度です。新たにSDGsに取り組む企業等を増やしていくとともに、SDGsをきっかけに企業等同士が連携することで新たな展開が生まれていくことを期待しています。詳しい情報は千葉県ホームページからご確認ください。



ちばSDGsパートナー <https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/sdgs/sdgs-tourou.html>

千葉県

千葉県では、最上位計画である総合計画において、SDGsの推進を施策横断的な視点の一つとして位置付け、全庁を挙げて取り組むこととしており、「ちばSDGsパートナー登録制度」はその広報啓発の中心に位置づけられている。

高い持続性

千葉県では、最上位計画である総合計画において、SDGsの推進を施策横断的な視点の一つとして位置付け、全庁を挙げて取り組むこととしており、「ちばSDGsパートナー登録制度」はその広報啓発の中心に位置づけられている。

SDGs達成に向けた宣言書

令和4年1月11日
所在地 千葉市中央区中央4-17-8
名称 千葉県信用保証協会
代表者 吉野 毅

当社は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に貢献することを宣言します。

1 関係するSDGs目標（ゴール）（※該当するゴールに○を入れてください）

1 貧困	2 気候変動	3 健全な生活	4 質の高い教育	<input type="checkbox"/>
5 ジェンダー平等	6 清潔な水と衛生	7 再生可能エネルギー	8 成長と雇創	<input type="checkbox"/>
9 インフラ・産業・新産業	10 公平な所得分配	11 住み続けられる都市	12 消費と生産	<input type="checkbox"/>
13 気候変動	14 海の豊かさ	15 陸域生態系保護	16 平和と公正	<input type="checkbox"/>
17 パートナーシップ				<input type="checkbox"/>

2 SDGs達成に向けた経営方針等

当協会は、信用保証による資金繰り支援と経営支援の2つの機能を持つ公的な機関として、SDGsに取り組む中小企業・小規模事業者を支援し、経済課題に取り組むとともに、創業スクールの開催やエコキャップ運動等を通じて、社会課題・環境課題にも取り組み、SDGs達成に向けて、様々な課題に包括的に取り組んでいきます。

ネットワーク

ネットワークの地域金融機関においても、各行の中期経営計画において、SDGsを重要戦略と位置付けており、地域と一体となって取組みを強化することとしている。

経済団体ならびに千葉県信用保証協会も含むネットワークの会員全団体自らが「ちばSDGsパートナー登録制度」に登録し、自団体のSDGs活動をコミットしている。

支援取組の影響・点から面へ

- 帝国データバンク千葉支店が2022年6月に実施した「SDGsに関する千葉県内企業の意識調査」によると、SDGsに積極的な企業は **52.8%** と、前回2021年6月の調査から **14.9ポイント増加** しており、確実に認知度が向上している。
- ネットワークの構成員が個々に行っている様々な先進的事例を、ネットワークで情報共有し横展開すると共に、「見える化」されたパートナー登録企業への波及により点から面への展開を図るとともに、地域金融機関三行によるサステナブルファイナンスの拡大も含めて、**SDGsの取組みを通じた地域における資金の還流と再投資を生み出し、自律的好循環を形成することにより、地域経済の活性化を実現していく。**

